

結局、間をおいて、全部で六匹通過した。しかし、ずいぶん遠くを横切ったので、望遠鏡ではっきり姿を捉えても、どのくらいの高さか実感するのが難しかった。尾は太めで黒っぽく、耳の内側の毛も黒っぽかった。野生のイヌで、タイ語では「マーナイ」という。鳥もたくさんいたし、この野生のイヌも気になったが、そろそろ戻らねばならない時間になった。帰りの道では二種のテナガザルがさかんになき交わしをしていた。



▼シロテナガザル※2



▲野生のイヌ※2

出典

※1 Gray,Piprell&Graham(1994)

National Parks of Thailand

※2 John W.K.Parr(2003) A Guide to the
LARGE MAMMALS OF THAILAND

※3 1,2以外のもの

Boonsong Lekagul,Philip D.Round(1991)

A guide to the Birds of Thailand

『植物と人々の博物館』 vol. 18

雑穀栽培講習会報告

5月14日(土)に、第19回雑穀栽培講習会を開催しました。今回は、東京学芸大学学生実習(自然文化調査法A&B)のフィールド実習としても開催しました。



講師は、畑と雑穀料理：丹波山村の岡部良雄さんご夫妻、上野原市西原地区の中川智さん。雑穀の専門のお話：木俣美樹男先生、小菅村のお話：守屋アキ子さん、青柳諭さんです。

雑穀料理では、ヒエ粥とモロコシ(甲州系=ムカシモロコシ)といんげんごはん、しゃくし菜の漬物をご指導いただきながら作り、食しました。雑穀の播種は、キビとアワでした。



雑穀料理



5月21日のちえのわ農学校は、田植えとドラム缶風呂もありました。